

第 63 回日本栄養改善学会学術総会 スポンサーシップ趣意書



【テーマ】食を通して、つなぐ・つながる 人、知恵、技
～これからの栄養学をみちのくで語り合う～

学術総会会長 吉池 信男

(日本栄養改善学会東北支部会 支部長
青森県立保健大学健康科学部栄養学科 教授)

会期：2016年9月7日（水）～9月9日（金）

会場：リンクステーションホール青森

ホテルクラウンパレス青森、ホテル青森

関係各位

特定非営利活動法人日本栄養改善学会
第63回日本栄養改善学会学術総会へのご協力のお願い

謹啓、時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は特定非営利活動法人日本栄養改善学会の事業運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、この度、第63回日本栄養改善学会学術総会を、2016年9月7日（水）～9日（金）に、リンクステーションホール青森、ホテルクラウンパレス青森、ホテル青森において開催させていただくこととなりました。東北地方での開催は、第46回学術総会（1999年 福島）以来17年ぶりで、青森県での開催は今回が初めてとなります。東北6県の学会員で組織された実行委員会を中心となり、現在、開催の準備を鋭意進めているところです。

特定非営利活動法人日本栄養改善学会は、「栄養学と健康科学に関する幅広い分野で、学術的調査研究、情報コミュニケーションを行うとともに、一般の人々に対し、栄養管理の支援・助言・協力をを行い、さらに栄養改善・健康増進に関する知識及び技術の教育普及活動を行い、もって栄養学と健康科学の振興を図り、科学的根拠に基づく栄養実践活動により、国民の健康増進に寄与する」ことを目的として、さまざまな活動を行ってきました。

今回の学術総会では、「食を通して、つなぐ・つながる 人、知恵、技」をメインテーマとしました。私たちのより良い「食と健康」を支える学問的基盤である栄養学とその実践について、「人」と「人」、「人」と「知恵」や「技」をどのようにつなげていくか、そしてそれらのつながりの中で、どのように展開していくのかについて、全国の学会員（約6,500名、例年約3,000名が参加）を迎えて、みちのくの地でともに語り、考えていきたいと思っております。

つきましては、本学術総会開催の趣旨にご賛同いただき、格別のご高配を賜わりたくお願い申し上げます。本来ならば参上の上、お願いすべきことではございますが、失礼ながら書面にて、ご理解とご支援を賜りたく、衷心よりお願い申し上げます。

謹白

2015年11月吉日

第63回日本栄養改善学会学術総会
学術総会会長 吉池 信男
(日本栄養改善学会東北支部会支部長
青森県立保健大学健康科学部 教授)



第 63 回日本栄養改善学会学術総会 開催概要

1. 学術総会名称：第 63 回日本栄養改善学会学術総会
2. 会 期：2016 年 9 月 7 日（水）～9 月 9 日（金）
3. 会 場：リンクステーション青森（青森市堤町 1 丁目 4 番 1 号）
ホテルクラウンパレス青森（青森県青森市本町 5-5-4）
ホテル青森（青森県青森市堤町 1-1-23）
4. 主 催：特定非営利活動法人日本栄養改善学会
5. 学術総会会長：吉池 信男（青森県立保健大学教授）
6. 顧 問：加藤 秀夫（東北女子大学教授）
7. 学術総会テーマ：食を通して、つなぐ・つながる
人、知恵、技
～これからの栄養学をみちのくで語り合う～
8. 学 会 規 模：予定参加者 約 3,000 名
9. プ ロ グ ラ ム：学術総会会長講演、特別講演、学会賞受賞講演、メインシンポジウム、
（予定）
教育講演、スポンサードシンポジウム、ワークショップ、
一般講演（口頭発表）、一般講演（示説発表）、
ランチョン（企業共催教育）セミナー、
研究自由集会、企業展示、書籍展示、市民公開講座、栄養相談
10. 学会に関するお問い合わせ先：
第 63 回日本栄養改善学会学術総会 事務局
事務局：〒030-8505 青森県青森市浜館間瀬 58-1
青森県立保健大学 健康科学部栄養学科内
E-mail：kaizen63@jsnd-tohoku.jp
11. スポンサーシップに関するお問い合わせ先：
第 63 回日本栄養改善学会学術総会 運営事務局
〒980-0824 仙台市青葉区支倉町 4-34 丸金ビル 6 階
日本コンベンションサービス株式会社 東北支社
Tel：022-722-1311 / Fax：022-722-1178
E-mail：kaizen63@convention.co.jp

第 63 回日本栄養改善学会学術総会実行委員会組織

2015 年 11 月現在

学術総会役職		氏 名	所 属
顧問		加藤 秀夫	東北女子大学
学術総会会長		吉池 信男	青森県立保健大学
学術総会副会長		笹田 陽子	盛岡大学
		藤田 修三	青森県立保健大学
総務委員会	委員長	吉岡 美子	青森県立保健大学
	副委員長	棟方 秀和	青森中央短期大学
学術委員会	委員長	笠原 賀子	山形県立米沢栄養大学
	副委員長	佐藤 伸	青森県立保健大学
	副委員長	鈴木 秀子	会津大学短期大学部
会場運営・ 接遇委員会	委員長	齋藤 長徳	青森県立保健大学
	副委員長	舩澤 正博	青森中央短期大学
	副委員長	今村 麻里子	東北女子大学
広報・ 渉外委員会	委員長	片山 一男	尚絅学院大学
	副委員長	佐藤 実	秋田栄養短期大学
	副委員長	伊藤 佳代子	山形県村山保健所
事務局	局長	草間 かおる	青森県立保健大学

1. 講演要旨集広告募集要項

1. 広告媒体名：第63回日本栄養改善学会学術総会 講演要旨集
2. 配布対象：第63回日本栄養改善学会学術総会 参加者
3. 発行部数：3,000部（予定）
4. 媒体作成費：3,024,000円（予定）
5. 広告料総額：2,484,000円（予定）

6. 掲載要領：

- (1) サイズ A4縦（※後付け1/2頁はA5横になります）
- (2) 広告料金

掲載箇所	広告料金（税8%込み）	募集枠数	印刷色
表4（裏表紙）	324,000円	1	カラー
表2（表紙裏）	216,000円	1	モノクロ
表3（裏表紙裏）	216,000円	1	モノクロ
後付 1頁	86,400円	10	モノクロ
後付 1/2頁	54,000円	16	モノクロ

※表4、表2、表3は受付順にて申し受けます。事前にお問合せください。

7. 広告掲載申込締切：2016年3月31日（木）

8. お申込方法：

講演要旨集広告掲載申込書にご記入の上、E-mail または FAX にてご送付ください。

9. ご請求について：

申込書を受領し、広告掲載枠が確定後、請求書を発行いたします。
請求書記載の指定口座までお振込みください。
なお、まことに勝手ながら振込手数料は貴社負担とさせていただきます。
また、請求書発行後のキャンセルは、原則として受け付けません。

10. 原稿版下について：

完全版下（デジタルデータ：印刷用 PDF または Adobe Illustrator）を
2016年4月28日（木）までに運営事務局までメールまたは郵送にてご送付ください。
なお、使用後はご返却いたします。

11. 広告掲載に関するお問い合わせ先：

第63回日本栄養改善学会学術総会 運営事務局
〒980-0824 仙台市青葉区支倉町4-34 丸金ビル6階
日本コンベンションサービス株式会社 東北支社
Tel：022-722-1311 / Fax：022-722-1178/ E-mail：kaizen63@convention.co.jp

申込期限： 2016年3月31日（木）

第63回日本栄養改善学会学術総会 運営事務局

担当：下条・松野 行



第63回日本栄養改善学会学術総会 講演要旨集広告申込書

申込日： 年 月 日

貴社・貴団体名			
ご所属部署名			
担当者	ふりがな		
住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			
申込内容	<input type="checkbox"/> プログラム広告 表4 (裏表紙)	広告料：324,000円	
	<input type="checkbox"/> プログラム広告 表2 (表紙裏)	広告料：216,000円	
	<input type="checkbox"/> プログラム広告 表3 (裏表紙裏)	広告料：216,000円	
	<input type="checkbox"/> プログラム広告 後付1頁	広告料：86,400円	
	<input type="checkbox"/> プログラム広告 後付1/2頁	広告料：54,000円	
広告原稿/データ 送付予定日	20____年____月____日予定		広告原稿締切：2016年4月28日(木)
通信欄			

※該当する箇所は、すべてご記入ください。